款 01下水道事業費用

項 01営業費用

目 04総務費

事務事業番号 01010411

事業	名	R1年度		財	源	内	訳		
担当部	₿・課	(決算額)	国道支出金	地力	请	そ(	の他	一般則	<b>オ源</b>
シンクライア	ント導入事業	0.045		_				0.045	~
上下水道部	ß 総務課	6,045 千円	<u></u>	ا۳	千円		千円	6, 045	千円
根拠法令		Į.							
実施方法	□ 直接実施 ■	業務委託等	□補助金	▪ 負扣金	• 助成 :	<del>}</del>			
事業の目的・対象	シンクライアント の向上を図ります。						)人事異	動時の和	リ便性
事業の必要性	令和2年1月をも 構築が必須です。全 ため本事業が必要で	庁側で既にシ							
事業の内容									
SDGs17の目標									
	各課の独自システ、 構築しました。また、 共有できる仕組みを・	、上下水道部							
					人件	費			
	コスト		職員構成	概算	算人件費		従	事職員数	<b>数</b>
事業費 (R1年度決算額)	コスト 6, 045	千円(土	職員構成 世当正規職員 嘱託職員		算人件費 ·×従事耶		0	事職員数	人
事業費		+H   =	旦当正規職員		算人件費 ·×従事耶	戦員数) ) 千円	0		
事業費 (R1年度決算額)	6, 045	+H   =	世当正規職員 嘱託職員 再任用(フル)		算人件費 ·×従事耶	職員数) 千円 千円 千円 千円 千円	0		人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費	6, 045 70 6, 115	千円	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員		算人件費 ·×従事耶	<ul><li>競員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	0	. 01	人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	6, 045 70 6, 115	千円	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員	(平均給与	章人件費 ·×従事耶 7(	<ul><li>競員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	0	. 01	人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	6, 045 70 6, 115	千円	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員	(平均給与	章人件費 ·×従事耶 7(	<ul><li>競員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	0	. 01	人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	6, 045 70 6, 115	千円	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員	(平均給与	章人件費 ·×従事耶 7(	<ul><li>競員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	0	. 01	人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	6, 045 70 6, 115	千円千円十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位	算人件費 ×従事耶 70 R1年	<ul><li>競員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	0   	. 01	人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	6,045 70 6,115 事業の有効性(効果	十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十円十二十十十十十十	世当正規職員 嘱託職員 再任用(フル) 存任用(ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位	算人件費 ×従事耶 70 R1年	<ul><li>競員数)</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li></ul>	0   	. 01 H29s	人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	6, 045 70 6, 115	十円 千円 千円 千円 指標名 の達成状況) 用対効果) 廃止に、人事異!	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 存任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員 ■ 高 ■ 高 ■ 高 ■ か業務運用	単位がいる。	算人件費耶 70 R1年 中中 たも全	戦員数) 千千千千千 一 度 キューリ	0   1   1   1   H30年度	. 01 . H29 低 低	人人人人人度
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	6,045 70 6,115 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 本事業によるPCの) に強化されました。	十一円 千一円 千一円 千一円 千一円 千一円 千一円 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	世当正規職員 嘱託職員 再任用 (フル) 任用 (ハ-フ) 任期付職員 ■ 高 高 件業い ・ 会や高い ・ なあるい ・ なあるい ・ なあるい ・ なあるい ・ なあるい ・ なあるい ・ なあるい ・ ない ・ ない ・ ない ・ ない ・ ない ・ ない ・ ない ・ も	(平均給与単位 ) が等て 約10年間	算人件事 R1年 中中 セ全 使	<ul><li>(数) 子千千千千千</li></ul>	0   0   1   1   1   1   1   1   1   1	. 01 . 01 . H29: 低低 低を図るこ	人人人人人人度

款 01下水道事業費用 項 01営業費用 目 04総係費 事務事業番号 01010412 財 事業名 R1年度 源 内 訳 一般財源 (決算額) 担当部·課 国道支出金 地方債 その他 財務会計システム更新事業 3.574 千円 3.574 千円 千円 千円 千円 上下水道部 総務課 根拠法令 実施方法 □ 直接実施 ■ 業務委託等 □ 補助金・負担金・助成金 令和元年度に予定されている、シンクライアントシステム移行のため、現在使用してい 事業の目的・対象 る財務会計システムの更新を行います。 財務会計システムは、公営企業を運営するために必要なシステムであり、現行のシステ ムでは、令和元年度に予定されているシンクライアントシステム移行時に使用することが 事業の必要性 できなくなるので必要となります。 事業の内容 SDGs17の目標 現行の財務会計システムは、シンクライアントシステムでは使用することができないた め、移行時に使用することができるように財務会計システムの更新を行いました。 人件費 コスト 概算人件費 職員構成 従事職員数 (平均給与×従事職員数) 担当正規職員 70 千円 0.01 事業費 3, 574 千円 (R1年度決算額) 千円 嘱託職員 千円 人 再任用 (フル) 70 人件費 千円 再任用(ハーフ) 千円 千円 任期付職員 総計 3,644 千円 臨時職員 千円 指標名 単位 R1年度 H30年度 H29年度 評価指標 (事業実績) 事業の有効性(効果の達成状況) 口中 口低 ■高 自己評価 事業の効率性(費用対効果) ■高 口中 □低 本事業により、シンクライアントシステム上でも円滑に財務会計システムを運用できる ようになったため、事業の有効性は高いと考えます。また、当システムは公営企業を運営 自己評価の理由 する上で不可欠であるため、費用に見合った効果も得られていると考えます。 事業の課題、 新しい財務会計システムをより効率的に活用できるよう、課内での情報共有を積極的に 今後の方向性等 図っていきたいと考えています。 特記事項

項 01建設改	良費	目 01下水道	築造費	事務事業番号	<del>}</del> 01010113
名	R1年度		財 源	内 訳	
₿・課	(決算額)	国道支出金	地方債	その他	一般財源
造事業	1 30/ 3/0 千田	330 //35 壬四	881 070 壬四	0 1/0 #	172,795 千円
下水道計画課	1,004,040	330, 433	001, 979 111	3, 140	1172, 795
下水道法、下水道施	行令、苫小牧	市下水道条例			
□ 直接実施 ■	業務委託等	□ 補助金・	負担金・助成	金	
(未普及対策)や雨	水管(大雨対	策)を整備する			
めの汚水管整備や、	近年の集中豪	雨による浸水剤	波害を軽減する	るための雨水	管整備、老朽
			【下水道管新記	没工事】	
東開町の 東開町の 東開町の 整 中 で を 整集、で す が で が が で が が で が が で が が で が が で が が で が が で す が が で す が が で す が で す が で す が で が で	未し いになー大 いになー大 いになー大 いた るで内対 持、 浸雨ポ策 す老 るで内対 す も、 るで内対 す も、 るで内対 す も、 るで内対 す を す るで内対 す す す を るで内対 を す るで内が す す を も る で の た る し る も る も る も る も る も る も る も る も る も	書を軽減を整備し、やバイパス施しました。 め、管楽の		【下水	
	名 ・事道道 回 会 ・事道道 直 全普新 水汚進 汚東水 雨近る払を 老管寿 ・政(築 下のが 汚東水 雨近る払を 老管寿 ・政(条 で)化 市備を 管町を 管のめ区置 化の化 ・大変に を変する 策下画 ・大変に を変がを でのめ区置 化の化 ・大変に を変がを でのめ区置 化の化 ・大変に を変がを を変がを をです 対流計 ・大変に です が流計 に水し に豪川ンな に機に ・大変に です が流計 に水し に豪川ンな に機に	造事業   下水道語   1,394,349 千円   1,394,349 千円   1,394,349 千円   下水道法、下水道   1,394,349 千円   下水道法、下水道   1   1,394,349 千円   下水道法、下水道   1   1,394,349 千円   下水道法、下水道   1   1,394,349 千円   下水道法、下水道   1   1,394,349 千円   1   1,394,349 千円   1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349    1,394,349	A   R1年度	R1年度	R1年度

						1 1 11 XZ	以未工爭』		
					人件費				
コスト			職員構成		算人件費 ·×従事職員数	(故) 従事	従事職員数		
事業費	1, 394, 349 千円		担当正規職員		-	·円	人		
(R1年度決算額)	1, 394, 349	<u>"</u>	嘱託職員			·円	人		
人件費	f F	iK	再任用(フル)			· PI	人		
NII R	11.	11	再任用(ハーフ)			·円	人		
総計	1, 394, 349 千円	1	任期付職員			· PI	人		
410 H1	, ,		臨時職員			·円	人		
	指標名			単位	R1年度	H30年度	H29年度		
評価指標	下水道普及率			%	99. 2	99. 2	99. 1		
(事業実績)	雨水面積整備率			%	74. 7	74. 6	74. 4		
	改築・更新済延長(計画対	象延		km	13. 2	7. 9	4. 4		
自己評価	事業の有効性(効果の達成	状況	) ■ 高		口中	□但	£		
日し計画	事業の効率性(費用対効	果)	■高		口中	□但	£		
自己評価の理由	近年の集中豪雨による浸 の汚水管整備を実施すると ことから、事業の有効性及	とも	に、老朽化した	た管渠のこ	女築更新も言				
事業の課題、 今後の方向性等	今後の事業経営を考慮しながら雨水管整備などの大雨対策や、老朽化した下水道の改 築更新を計画的に実施します。								
特記事項	コスト欄の事業費には、	人件	費が含まれてい	ハます。					

	事務事	業評価(主	要事業レビ	ュー)					
款 01資本的支出	項 01建設改	(良費	目 01下水道	築造費		事務事	業番号	01010	114
事美	業名	R1年度		財	源	内	訳		
担当普	邬・課	(決算額)	国道支出金	地方	債	その	)他	一般則	才源
ポンプ場	築造事業	105, 404 千円	21 /100 壬四	93 116	千円	586	千円	214	千円
上下水道部	下水道計画課	100, 404	21, 400	03, 110	713	300	713	214	111
根拠法令	下水道法、下水道法	施行令、苫小牡	女市下水道条件	列					
実施方法	□ 直接実施 ■	業務委託等	□ 補助金・	負担金・	助成:	金			
事業の目的・対象	流下する下水を揚 持続させるため、老								!的に
事業の必要性	下水道は、市民生ため、ポンプ場の老						を持続的	的に確保	いまする
事業の内容			( <del>ś</del>	(井中継)	ピンプ	場】			
SDGs 17の目標 3 #************************************	老朽化対策につい ポンプ場の機能 ストックマネジ 糸井中継ポンプ場 錦岡中継ポンプ場 老朽化した機器の	を維持するため ント計画に基づの受変電設備が の機械設備なる	づき、 や、 ど	000000000000000000000000000000000000000		1			

【錦岡中継ポンプ場】

						人件費		
コスト				職員構成		算人件費 -×従事職員数	(数) 従事	職員数
事業費	105, 404	千円		担当正規職員			·円	人
(R1年度決算額)	100, 101	'''		嘱託職員			· <b>H</b>	人
人件費		千円	$\prec$	再任用(フル)			·円	<u> </u>
				再任用(ハーフ) 任期付職員			·円 ·円	<u> </u>
総計	105, 404	千円		<u> </u>			·円	<u></u>
		 指標名		<u>шин</u> у 49, 55	単位	R1年度	<u>  1</u> H30年度	H29年度
】 評価指標	ストックマネジメント記		数(	対象機器 25点)		4	-	-
(事業実績)	長寿命化計画機器数	(対象	幾器	55点)	点	-	0	33
ウコミル	事業の有効性(効果の	の達成	<b></b>	) ■ 高		口中		
自己評価	事業の効率性(費用	用対効	果)	■高		口中	□個	į
自己評価の理由	老朽化対策の計画的 ており、事業の有効性						能低下や停	止を回避し
事業の課題、 今後の方向性等	今後の事業経営を <b>きまります。</b> 計画的に実施します。		ながら	ら、老朽化が進	≜んでいる	施設の部品	a交換や改築 -	更新などを
特記事項	コスト欄の事業費に	こは、ノ	人件	 貴が含まれてし	います。			

款 01資本的支出	項 01建設改	良費	目 01下	水道等	築造費		事務事業	<b>業番号</b>	01010	115
事業	<b>美名</b>	R1年度			財	源	内	訳		
担当音	『・課	(決算額)	国道支出	出金	地方值	責	その	他	一般則	掠
下水処理場	<b>景築造事業</b>	305,929 千円	07 200	<u>고</u> 교	107 905	<b>エ</b> 田	1 6/0	千円	9. 185	千円
上下水道部	下水道計画課	303, 929	97, 290	113	197, 003	113	1, 049	713	9, 100	113
根拠法令	下水道法、下水道法	施行令、苫小特	女市下水道	1条例						
実施方法	□ 直接実施 ■	業務委託等	□ 補助	金・負	負担金・	助成:	金			
事業の目的・対象	下水処理センター 設であり、その機能 を計画的に進めます	を安定的に持約								
事業の必要性	下水道は、市民生ため、下水処理セン								的に確保	する
事業の内容 SDGs17の目標				【西田	丁下水処	理セ:	ンター】			
3 #750AL 6 **GRENEL	老朽化対策につい 下水処理センタ ため、ストットで 基づき、西町下水 設備や、勇払下水 設備など老朽化し しました。	一の機能を維持 ネジメント計 処理センターの 処理センターの	画に の機械 の計測						6	

					人件費	
	コスト			職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数
事業費	305, 929	千円		担当正規職員	千円	
(R1年度決算額)	300, 929	ТП		嘱託職員	千円	
人件費		千円	$\forall$	再任用(フル)	千円	
八仟貝		ТП	1	再任用(ハーフ)	千円	
総計	305, 929	千円		任期付職員	千円	
邢心 員Ⅰ	J 303, 929	ᅮᄀ		施供職員	エ田	<u>-</u>

千円 千円 臨時職員 指標名 H29年度 単位 R1年度 H30年度 ストックマネジメント計画機器数 (対象機器 124点) 点 34 評価指標 (事業実績) 2 長寿命化計画機器数(対象機器 269点) 点 54

| 事業の有効性(効果の達成状況) ■ 高 □ 中 □ 低 | 事業の効率性(費用対効果) ■ 高 □ 中 □ 低

自己評価の理由

老朽化対策の計画的な実施により予防保全を図り、下水処理センターの機能低下や停止 を回避しており、事業の有効性及び効率性は高いと考えています。

【勇払下水処理センター】

事業の課題、 今後の方向性等 今後の事業経営を考慮しながら、老朽化が進んでいる施設の部品交換や改築更新などを 計画的に実施します。

特記事項 コスト欄の事業費には、人件費が含まれています。

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 04固定資産取得費 事務事業番号 01010416

款 0 其本的文出 市場	央 01 建成以 ± 2			口。中国足				1 日 7	01010	
事業		R1年度			<u>財</u>	源	内	訳	60.5	<b>上7</b> 王
担当音		(決算額	Į)	国道支出金	: 地方	方債	70	の他	一般見	<b>才</b> 源
固定資		840	<sub>千円</sub>	千	щl	千円		千円	840	千円
上下水道部 西町	下水処理センター	040	'''		1	,,,		'''	040	
根拠法令	下水道法、水質汚濁	防止法			-		-	-		
実施方法	■ 直接実施 □	業務委託等	<del>等</del>	□ 補助金	・負担金	· 助成:	<del></del>			
事業の目的・対象	下水処理場からの め、水質検査を実施 るため更新します。									
事業の必要性	放流水の安全性を 化が進み故障が頻発								<b>ますが、</b>	老朽
事業の内容										
SDGs17の目標										
	水質検査用機器類	の更新								
3 ENCORE 6 SENCE	ウォーターバス金属製の容器に	入れた水を	・加索	<b>热し、検体</b> を	緩やかに	ニ温める	機器			
11 SARNONS 14 ROZDZR	┃ オートクレーブ ┃  内部を高温・高』		化当	学反応や滅菌	[処理をす	る機器	<u> </u>			
. ■⊿					··- <b> /</b>	- 11×11H				
	恒温器 1台	. ve + +		51-10-1-1	O 14/4 00					
	大腸菌群検査時	に、温度を	<u>-</u> – 5	Eに保つため	の機器					
	1					人件	弗			
-						八十	貝			
	コスト			職員構成	概算	算人件費	Ì	従事	事職員数	汝
 事業費	Т	<u>+</u> H (		当正規職員		算人件費	t 職員数) 千円		事職員数	人
	3スト 840	千円(	担	当正規職員 嘱託職員		算人件費	融員数) 千円 千円		事職員数	人人
 事業費	Т	—— J		当正規職員 嘱託職員 「任用 (フル)		算人件費	能 職員数) 千円 千円 千円		事職員数	人
事業費 (R1年度決算額)	Т	千円	- 担 再 再	当正規職員 嘱託職員 任用(フル) 任用(ハーフ)		算人件費	計 職員数) 千円 千円 千円		事職員数	人 人 人
事業費 (R1年度決算額)	Т	—— J	- 担 再 再	当正規職員 嘱託職員 任用 (フル) 任用 (ハーフ)		算人件費	職員数) 千円 千円 千円 千円		事職員勢	人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費	840	千円	- 担 再 再	当正規職員 嘱託職員 任用(フル) 任用(ハーフ)	(平均給与	算人件費 :×従事即	<ul><li>計</li><li>計</li><li>計</li><li>計</li><li>十</li><li>円</li><li>十</li><li>円</li><li>十</li><li>円</li><li>十</li><li>円</li></ul>			人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	840	千円	- 担 再 再	当正規職員 嘱託職員 任用 (フル) 任用 (ハーフ)	(平均給与	算人件費 F × 従事 F R1年	職員数) 千円 千円 千円 千円 千円			人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	840	千円	- 担 再 再	当正規職員 嘱託職員 任用 (フル) 任用 (ハーフ)	(平均給与	算人件費 :×従事即	職員数) 千円 千円 千円 千円 千円			人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	840	千円	- 担 再 再	当正規職員 嘱託職員 任用 (フル) 任用 (ハーフ)	(平均給与	算人件費 F × 従事 F R1年	職員数) 千円 千円 千円 千円 千円			人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	840 840 機器・装置の購入	千円千円指標名	担用再	当正規職員 嘱託職員 任用 (フル) 任用 (ハーフ) 圧期付職員 臨時職員	単位	算人件費 ·×従事! R1年 4	職員数) 千円 千円 千円 千円 千円	H30年度	H29	人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計	840 840 機器・装置の購入 事業の有効性(効果	千円十円指標名の達成状況	担用再	型当正規職員 嘱託職員 任用 (フル) 任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位	算人件費 i × 従事 ii R1年 4	職員数) 千円 千円 千円 千円 千円	H30年度 -	H29	人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	840 840 機器・装置の購入	千円十円指標名の達成状況	担用再	当正規職員 嘱託職員 任用 (フル) 任用 (ハーフ) 圧期付職員 臨時職員	単位	算人件費 ·×従事! R1年 4	職員数) 千円 千円 千円 千円 千円	H30年度	H29	人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	840 840 機器・装置の購入 事業の有効性(効果	千円十円指標名の達成状況	担用再	型当正規職員 嘱託職員 任用 (フル) 任用 (ハーフ) 任期付職員 臨時職員	単位	算人件費 i × 従事 ii R1年 4	職員数) 千円 千円 千円 千円 千円	H30年度 -	H29	人 人 人 人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	840 840 機器・装置の購入 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	千円 千円 指標名 の達成状況 用対効果)	五 一 一 一 一 一 一 元 ) ) ) ) ) ) ) ) ) ) ) ) )	型当正規職員 嘱託職員 任用 (フル) 任用 (ハーフ) 王期付職員 臨時職員	単位台	算人件費車×從事車 R1年 4	職員数)円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	H30年度 - ロイ	H29 氏 氏	人人人人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	840 840 機器・装置の購入 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	千円 千円 指標名 の達成状況 用対効果)	五 一 一 一 一 一 一 元 ) ) ) ) ) ) ) ) ) ) ) ) )	型当正規職員 嘱託職員 任用 (フル) 任用 (ハーフ) 王期付職員 臨時職員	単位台	算人件費車×從事車 R1年 4	職員数)円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	H30年度 - ロイ	H29 氏 氏	人人人人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	840 840 機器・装置の購入 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	千円 千円 指標名 の達成状況 用対効果)	五 一 一 一 一 一 一 元 ) ) ) ) ) ) ) ) ) ) ) ) )	型当正規職員 嘱託職員 任用 (フル) 任用 (ハーフ) 王期付職員 臨時職員	単位台	算人件費車×從事車 R1年 4	職員数)円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	H30年度 - ロイ	H29 氏 氏	人人人人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	840 840 機器・装置の購入 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	千円 千円 指標名 の達成状況 用対効果)	五 一 一 一 一 一 一 元 ) ) ) ) ) ) ) ) ) ) ) ) )	型当正規職員 嘱託職員 任用 (フル) 任用 (ハーフ) 王期付職員 臨時職員	単位台	算人件費車×從事車 R1年 4	職員数)円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	H30年度 - ロイ	H29 氏 氏	人人人人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	840 840 機器・装置の購入 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	千円 千円 指標名 の達成状況 用対効果)	五 一 一 一 一 一 一 元 ) ) ) ) ) ) ) ) ) ) ) ) )	型当正規職員 嘱託職員 任用 (フル) 任用 (ハーフ) 王期付職員 臨時職員	単位台	算人件費車×從事車 R1年 4	職員数)円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	H30年度 - ロイ	H29 氏 氏	人人人人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標 (事業実績)	840 840 機器・装置の購入 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	千円 千円 指標名 の達成状況 用対効果)	五 一 一 一 一 一 一 元 ) ) ) ) ) ) ) ) ) ) ) ) )	型当正規職員 嘱託職員 任用 (フル) 任用 (ハーフ) 王期付職員 臨時職員	単位台	算人件費車×從事車 R1年 4	職員数)円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	H30年度 - ロイ	H29 氏 氏	人人人人 人
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標(事業表) 自己評価 自己評価の理由	840 840 機器・装置の購入 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 当事業は、下水処・必要なものであり、	千円 千円 千円 が建成状況 用対効果) 理場からの	型 再再 (1) 放於·	型当正規職員 嘱託職員 任用 (フル) 任用 (ハーフ) 田期付職員 高高 ■ 高 高 ■ 小の安性も高	単位とおいる。	算→ K1年4 中中 市る R1年4	職員   大手千千千千   安価   お評	H30年度 - ロイ いして生活	H29 氏 氏	
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標(事業実績) 自己評価 自己評価の理由	840 840 機器・装置の購入 事業の有効性(効果 事業の効率性(費	千円 千円 千円 が建成状況 用対効果) 理場からの	型 再再 (1) 放於·	型当正規職員 嘱託職員 任用 (フル) 任用 (ハーフ) 田期付職員 高高 ■ 高 高 ■ 小の安性も高	単位とおいる。	算→ K1年4 中中 市る R1年4	職員   大手千千千千   安価   お評	H30年度 - ロイ いして生活	H29 氏 氏	
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標(事業表) 自己評価 自己評価の理由	840 840 機器・装置の購入 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 当事業は、下水処・必要なものであり、	千円 千円 千円 が建成状況 用対効果) 理場からの	型 再再 (1) 放於·	型当正規職員 嘱託職員 任用 (フル) 任用 (ハーフ) 田期付職員 高高 ■ 高 高 ■ 小の安性も高	単位とおいる。	算→ K1年4 中中 市る R1年4	職員   大手千千千千   安価   お評	H30年度 - ロイ いして生活	H29 氏 氏	
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標(事業表) 自己評価 自己評価の理由	840 840 機器・装置の購入 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 当事業は、下水処・必要なものであり、	千円 千円 千円 が建成状況 用対効果) 理場からの	型 再再 (1) 放於·	型当正規職員 嘱託職員 任用 (フル) 任用 (ハーフ) 田期付職員 高高 ■ 高 高 ■ 小の安性も高	単位とおいる。	算→ K1年4 中中 市る R1年4	職員   大手千千千千   安価   お評	H30年度 - ロイ いして生活	H29 氏 氏	
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標(事業責) 自己評価 自己評価の理由	840 840 機器・装置の購入 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 当事業は、下水処・必要なものであり、	千円 千円 千円 が建成状況 用対効果) 理場からの	型 再再 (1) 放於·	型当正規職員 嘱託職員 任用 (フル) 任用 (ハーフ) 田期付職員 高高 ■ 高 高 ■ 小の安性も高	単位とおいる。	算→ K1年	職員   大手千千千千   安価   お評	H30年度 - ロイ いして生活	H29 氏 氏	
事業費 (R1年度決算額) 人件費 総計 評価指標(事業実績) 自己評価 自己評価の理由	840 840 機器・装置の購入 事業の有効性(効果 事業の効率性(費 当事業は、下水処・必要なものであり、	千円 千円 千円 が建成状況 用対効果) 理場からの	型 再再 (1) 放於·	型当正規職員 嘱託職員 任用 (フル) 任用 (ハーフ) 田期付職員 高高 ■ 高 高 ■ 小の安性も高	単位とおいる。	算→ K1年	職員   大手千千千千   安価   お評	H30年度 - ロイ いして生活	H29 氏 氏	